

2017/2/18

## (日々雑感 20)



戦争状態のような毎日。

爆弾処理班のような日々。

信管の抜き方や順序を間違えたら、ドッカン。

自分だけが吹き飛ばなら良いのですが、周りにも累が及ぶ可能性もあるので、止めるわけにはいかない。(すみません。直接的な書き方は出来ないのです)

こんな暮らしをもう一ヶ月もしていると、戦争というものに対するイメージが、がらっと変わってきました。

戦争状態というと、今までは無意識のうちに地上戦、肉弾戦を思い描いていました。いわゆる暴力です。しかし、それは戦争の姿の一部でしかないと思い始めました。

戦争の本当の肝といのは「情報操作戦」ではないだろうか？と。

何も鉄砲を撃った最初の一発目が戦争の始まりで、鉄砲を地面に置いたときに戦争の終わりではない。戦争は鉄砲を撃つ遙か前に始まっていて、鉄砲を地面に置いた後もずっと続いているのではないか。

例えば何かを伝えるのにメディアを使います。いろいろありますが、最も一般的で有用なのは画面映像です。僕らはその映像を見て、そういうことが起こっているんだと思います。

しかし、画面映像というのは、画角があります。撮影機材の視野範囲に限られます。その視野範囲外で何が起こっているかは見えないのです。

画角が10度で、そこに黒の映像が流れていたとします。ところが他の350度は白の世界だったとします。しかしカメラを10度の画角にだけ合わせて、敢えて他にカメラを振らなければ、僕らは、そこは黒の世界なんだと誤ってしまいます。別に「あの世界は真っ黒だ」とわざわざキャプションをつけなくても、全く事実と正反対の印象をそこにいない人たちに持たせることが可能なのです。

これが情報操作です。

どこに行っても同じ映像が流れているときは、気をつけなくてはいけないと思います。ど

の局でも、どの SNS でも同じ映像が流れているのはとても危ない気がします。他の角度の映像が全くないからです。

今回の僕らのことでも、ぼくはぼくの画角で、相手は相手の画角で、これが真実だと文字や映像で見せ合っている、情報操作し合っているのです。

これこそが現代の戦争の姿です。今まで僕らが抱いていた物理的暴力だけの戦争の姿は太平洋戦争時代の遺物でしかないような気がしています。早くこのイメージを変えないと。深読みすれば、戦争に対するこんなイメージを持たされていること自体、操作されているのかもしれませんが。「戦争の肝」である情報戦を仕掛けていることを隠しておきたい人たちによって。

戦争状態は、直接的な暴力のぶつかり合う以前の今、既に始まっているのです。ネット上で。

だから、これをご覧になっている皆さんは、そのことを充分頭に置いて、僕の身の回りに起こっている戦争状態も、そのほかに起こっている戦争状態も、偏ったり固定したりせずに、広く自分のカメラを振って、360度の画角で見ることをおすすめします。